令和6年度自治体国際協力促進事業（モデル事業）一覧

No	申請団体	事業名	対象国・地域	分野	事業内容	連携団体(国内)
1	白老町	古きを訪ねて新しきを共創するプログラム「wagamam」 バングラデシュとの地域間交流による伝統薬用植物等市場開拓事業	バングラディ	産業	バングラディ・イテアブア県と互いの文化や伝統を尊重し、持続的な関係を築いていくことを目的に、相互の地域資源を活かした商品開発や市場調査を進めたほか、白老町内の高校にてバングラディの文化や特産品のマナ茶について授業を実施した。	・白老文化観光推進実行委員会 ・北海道白老東高等学校 ・(一社)北海道バングラディ協会
2	神奈川県	ベトナム国におけるHIV陽性者口腔ケア啓発事業	ベトナム	医療	神奈川県はHIV陽性者の県内歯科診療体制の整備を進めているが、この事業を委託している神奈川県歯科医師会(以下「県歯会」という。)は、その友好協定締結先であるベトナム国ホーチミン市歯科口腔病協会とともに県委託事業を参考にJICA草の根技術協力事業(支援型)「ホーチミン市におけるHIV/AIDS患者の口腔健康の向上を目指した歯科診療体制の構築事業」を2021年度から3年間実施した。その中でHIV陽性者の口腔ケアに対する認識不足や現地の課題解決への強い意向が明確となったため、県は県歯会と連携し今回の「ベトナム国での口腔ケア啓発推進事業」を実施した。	
3	神戸コミュニティセンター	ベトナム国ハナム省におけるものづくり人材育成事業	ベトナム (ハナム省)	産業/人材育成	産業のグローバル化に伴い、日系企業のベトナム進出は増加しており、神戸市と「経済交流に関する共同声明」を締結したベトナムのハナム省でも、企業進出が進んでいるが、日系企業が求めるベトナム人技術者と、ハナム省の地元人材との間には、求められるスキルに差があると指摘されている。加えて、神戸市においても、ものづくり人材の不足が課題となっている。このような背景を踏まえ、KICCIは、日系企業の求めるものづくり人材の育成を行うとともに、ハナム省と神戸市をつなぎ、人材の選送を促進するプロジェクト計画書を策定した。将来的には、JICA草の根技術協力事業を通じて、神戸市内の企業やハナム省内の日系企業と、ハナム省職業訓練短期大学との連携を強化し、ベトナム国内および日本国内で、実地経験を通じて人材が成長し、両国で活躍できる仕組みを構築することを目標としている。本モデル事業では、人材選送の仕組み作りの第一歩として、ベトナム進出の日系企業と現地の職業訓練短期大学が抱える課題や、目指すべき人材育成の方向性を調査し、現地のニーズを把握した上でJICA草の根技術協力事業の事業計画を策定した。	・神戸市 ・神戸市立高校専門学校
4	神戸高円町	広島県神石高原町の特産品を活用したアジア地域の中山間地振興事業(ネパール)	ネパール	農業	ネパールの中山間地域における農業生産性向上事業を、ネパールの提携団体ACNとともに実施した。対象としている農家の中から、村のリーダー的存在の2人を選択し、ACNの事務局長アナン(通称)のもと、11月に日本に招聘した。神戸高円町内外の様々な農業生産者や流通関係者を訪問し多様な学びを得ることができた。リーダーたちは自分の村で学んだことを報告し、早速一部を取り入れた試みを行っている。	・NPO法人ピースウィンズ・ジャパン
5	宇都部市	インドネシア共和国バブア州スピオリ島の離島における持続的環遊啓発事業	インドネシア (バブア州スピオリ県)	環境/人材育成	世界最大の海洋国家であるインドネシア共和国の中でも離島地域にあたるバブア州スピオリ県が環境改善に取り組むことを支援した。現地行政官を宇都部市に招聘し、環境管理研修を実施し、現地で環境啓発活動を推進する中核人材として育成した。また、帰国後に現地で実現可能な環境啓発活動が継続するように計画、実施、評価、改善を支援した。	・宇都部環境国際協力協会 ・NPO法人うべ環境コミュニティ ・宇都部市環境衛生連合会 ・宇都部市地球温暖化対策ネットワーク ・宇都部市立市民大学環境・アート学部卒業生 ・宇都部観光コンベンション協会
6	北九州市(環境局)	インドネシア共和国スラバヤ市における廃棄物管理能力向上事業	インドネシア (スラバヤ市)	環境/人材育成	スラバヤ市は北九州市の環境姉妹都市であり、20年以上にわたり環境国際協力事業を実施してきた。本モデル事業では、北九州市がこれまで培ってきた廃棄物関連の知識や経験を活かした技術指導の提供を通じ、スラバヤ市で喫緊の課題となっている、廃棄物管理について、持続可能な人材育成の仕組みと体制の構築を目指す。現地廃棄物関連施設の現状把握と実証試験をスラバヤ市と協働で実施し、効率的な堆肥化方法を示すことができた。また、現地調査の際には、持続可能な人材育成と堆肥化施設の運営能力構築を目的としたスラバヤ市職員対象のワークショップを実施し、オンラインでも適宜フォローアップを行った。	・(公財)地球環境戦略研究機関 ・専門家(高倉弘二氏)
7	北九州市(上下水道局)	ベトナム国ハイフォン市における浸水被害軽減のための組織強化プロジェクト	ベトナム (ハイフォン市)	防災	ハイフォン下水道排水公社に対して、大雨時の円滑な現地作業を行うための体制構築について支援し、組織強化することにより、浸水被害を軽減しハイフォン市民の生命と財産の保全を図ることを目的として、活動を行った。 具体的には、ヒアリング聴取による現状把握や情報収集、浸水対応の体制を明確にするための意見交換、浸水対応の現在の体制を精査する資料の作成等である。これにより、実際の大雨時の対応のほか、雨前に対応の浸水事前の浸水対応の体制作りを支援することができた。	・北九州市海外水ビジネス推進協議会
8	宮崎県	農業分野におけるベトナム人材育成体制整備事業	ベトナム	農業/人材育成	実習意欲の向上や、帰国後の農業関連産業への就職促進により、ベトナム国の農業発展に繋げることを目的に、渡航前の技能実習生に対して、宮崎の農業や方言、文化等を事前教育する取組(宮崎授業)を実施した。 宮崎授業にあたり、ベトナムの農業振興に必要な内容を調査した上で、農業専門の教材を作成した。その教材を活用し、本県職員や受入れ企業による授業を行い、本県農業での実習意欲向上や不安解消が確認できた。さらに、WNUAとの連携企画に基づき、特定技能人材の確保・育成に向けた覚書を締結し、本県でも受入れ需要が高まっている高度人材にも取組拡大が期待される。 次年度は、宮崎授業の理解度向上や定着に向けた動画教材の作成や現地職員による宮崎授業の実証、オンライン授業の効果検証を行う。	・独立行政法人国際協力機構

※建制順に記載